

令和4年度 第2回ナセBA運営協議会議事録

1. 開催日時 令和5年1月30日（月） 午後3時～午後4時30分

2. 開催場所 ナセBA1階・体験学習室

3. 出席者 9名出席

（委員）

我妻 仁（会長）、北口 己津子（副会長）

太田 和広、佐藤 有二、西山 まなみ、下嶋 恵美、佐藤 繁、白田 静雄、吉澤恭子

（事務局）

種村 信次、岸 順一、渡部 洋己、青木 昭博、石黒 志保、遠藤 朋香、齊藤 かおり、福石 敏史、
齋藤 佳奈

4. 開会（事務局）

5. 理事長あいさつ

委員の皆様には、お忙しい中お集まりいただき、感謝申し上げます。新年を迎えて一か月が経とうとしているが、今年もよろしくお願い申し上げます。昨年を振り返ると、コロナ禍から落ち着きを取り戻してきたように思われる。また、コロナの制限が緩和されるので、利用者増に期待したい。図書館も多くの市民の皆様に関心を持っていただけるように精一杯努力をしていきたい。皆様から様々なご意見を聞き、改善を進めながらより良い図書館にしていきたいと考えている。また、新年度に向けて新たな体制づくりを頑張っていきたい。

本日の議題は、今年度の12月までの事業報告と来年度の事業計画についての報告になっている。それを基に皆様から利用者増に向けてご意見を頂戴したい。

6. 会長あいさつ

悪天候の中、ご出席いただき、感謝申し上げます。冬季期間は図書館の利用頻度が減少気味になるが、インターネットで本の予約や検索ができるので、ぜひホームページを使い易くして、市民の方に図書館の良さについて発信していただきたい。

新しい委員の体制になって2回目となる運営協議会となる。色々と遠慮なく意見や感想をお話しただけだと思います。

7. 図書館長あいさつ

日頃より当館にご支援を賜り、心から感謝申し上げます。最初に今年度を実施した事業の概略と課題について説明する。

今年一年、図書館の魅力を高めながら、皆様に気持ちよく利用してもらうにはどうしたらよいか考えてきた

図書業務では、利用しやすい書架づくりや適切な除籍に意を用い、図書館フェア、読書会、小学校と連携したスタンプラリーなど読書活動を推進する事業の充実を図ってきた。おはなしのへやに換気設備がないため、現在おはなしかいができない状況にある。そのため、児童書架の間のオープンスペースにおいて来館されたこどもさんに声をかけミニおはなしかいを行った。今後、おはなしかいを復活したいと考えているのでご意見を頂戴したい。

郷土業務では、郷土資料を活用した講座の充実や貴重書庫資料の積極的な展示に取り組んできた。また、資料を探しやすくするために去年からパスファインダーを作成している。

その他、ギャラリー、伝国の杜、先人顕彰コーナー、1階生活に役立つ情報コーナーにおける展示に関連する書籍を紹介する特集コーナーづくりを行った。市の高齢福祉課と連携した認知症についての特集や健康課と連携した自殺防止や食育について特集を設けたところ多くの反響があった。

また、今年重視したのは職員による図書館サービス向上で、それを目標に研修を実施した。設備点検のための臨時休館日に、人材育成アカデミー・ローズレーン代表の黒田三佳氏を講師に迎え接遇研修を行った。さらに、各担当業務の目標を達成するためにどのような取り組みをすべきか考える研修会を行い職員それぞれが図書館の存在意義を再度認識するきっかけとなった。研修後、職員対応がよくなったとのことご意見も頂戴しており、今後一層研修を充実させたい。

一方、課題もある。コロナ禍ということもあるが利用者数が伸び悩んでいる。今までよく来館されていた方を見かけなくなり、新規の利用者もなかなか増えていない。図書館をまだ利用したことがない方にどう魅力を伝えるかを考え、さらに利用者のニーズを把握してリピーターとなってもらう仕掛けづくりをしていきたい。

これらの課題について、後ほど委員の皆様から忌憚のないご意見を頂戴したい。

8. 議事

(1) 令和4年度の事業実施状況（4月～12月）について

概略を事務局から説明。

(委員) 学習室利用人数は、入館者数に含まれるか。

(事務局) 含まれない。図書館の入館者数とは別である。

(委員) 現在学習室の利用に制限があるので、入館者数に含むなら減るのは妥当だと思った。しかし、データをみると、貸出利用件数は1日約200件の利用があり、多くの入館者がいる印象がある。オープン当初に比べると少なくなっているとは思いますが、多くの人が利用していると思った。

(事務局) 閲覧席の制限により、コロナ前の令和元年度に比べて、入館者数は約29%減少している。しかし、貸出冊数は約10%減にとどまっている。以前から利用している方は、定期的に本を借りている。

(委員) 図書館の利用について、高齢者や新規の利用者が減っているとのことだが、具体的に高齢者、中間層、若年層の利用はどのくらい減っているのか。印象でもいいので教えていただきたい。

(事務局) 利用者の年齢の統計を取っていないので、あくまでも感覚的な話となるが、印象として、高齢者の利用は保っていると感じるが、いつも利用していただいている高齢者がお見えにならないのが目立っていると思う。

(事務局) 特にどこの層が減っているという印象はない。土日は親子連れでいっぱい子ども用のカートがなくなるくらいの利用者数となっている。ただし、中高生の利用がコロナ禍前より減っている印象はある。

(委員) コロナ禍前は、幼稚園で保護者による読み聞かせに利用するため、100冊ほど図書館から本を借りていた。しかし、コロナ禍になってから保護者が幼稚園に長時間いることができなくなり、あまり貸し借りの頻度は高くない。5月からコロナが第5類扱いになるが、緩和した後は、おはなしのへややアタゴオルの運営はどうしていくのか。

(事務局) コロナ禍でも読み聞かせはしたいが、おはなしのへやは換気が十分でないので、難しい状況である。ただし、体験学習室で読み聞かせをやったことがあるので、おはなしかいを体験学習室で実施する方法もあると考えている。アタゴオルによる絵本読み聞かせについても再開を考えている。また、閲覧席と学習室の座席数を戻して通常の運営に戻すかは、市の社会教育文化課と検討中である。

(2) 令和5年度事業計画(案)について

概略を事務局から説明。

(委員) 小学生向けの図書企画は大変ありがたい。小学生は、本を家に持ち帰らず、学校の隙間時間に本を読んでいる印象がある。そのため、家庭内で読書をしていない様子を見て、保護者は子どもが本を読んでいないと感じているようである。今後も読み聞かせやスタンプリナーなど、図書館の企画を学校に広報してもらえたらありがたい。

(3) その他

課題に対する改善案や意見などを頂戴した。

(委員) 図書館の基礎的な業務から新しいことまで運営している印象。個人的に子どもと「謎解きラリー」に参加してみて、図書館の利用の仕方や調べ方について楽しく知れて良かった。新規利用者の獲得に向けて、図書館に詳しくなれるようなイベントがあると楽しいと思う。ナセBAとしての大事にしたいことを楽しい形として自信を持って行っていけば良いと思う。また、県立図書館と連携をして本の取り寄せなど利用しやすい取り組みを続けてもらいたい。また、小学校の授業の一環で図書館を訪れる際に、カードを作るようにすると、利用者増につながると思う。

(事務局) 小学生の利用者カードの登録は、アタゴオルが巡回している小学校の新一年生に一括して利用者登録をしてもらっている。また、読書通帳の利用促進のため、今年度、社会教育文化課と協議の上、読書通帳を市内小学校の新一年生に配布した。

(委員) 日頃、図書館やギャラリーの整備をしていただき感謝申し上げる。多くの方に図書館やギャラリーに来ていただけると嬉しく思う。インターネットの利用は、コロナになってから増えたのか、また、SNSのフォロワーなどは増えたのか。

(事務局) インターネット利用は、年度末に数値を出しているが、現時点で具体的な数値はわからない。しかし、インターネット利用者から、システムが変わって使いづらいという声を聞くことが多かった。不便な点は課題であるが、質問が多いことからインターネットの利用者が多いと感じた。ツイッターは、地道に更新をしていたところ、徐々にフォロー

ーが増えている。しかし、フォロワーが図書館利用者かどうかはわからないので、今後も更新を続けフォロワーを増やしていきたい。

(委 員) 図書館は、地元商店街としては非常にありがたい存在。これからも協力して営業していかなければならないと感じる。飲食店の場合、お店にお客様が来るには、おいしさと楽しさが必要。図書館も楽しいことをやっているイメージづくりをすれば、入館者数が増えるのではないかと思う。子ども達には、図書館を通じて大事な人生をどう生きていくか感じてもらいたいので、図書館は、子ども達の成長の場となって欲しい。

(委 員) おはなしかいを復活して欲しい。おはなしかいだけでなく、おはなしのへや自体を開けていただけると、親が子どもに本を読む際とても助かるので、換気をどうにかして使えるようにしていただきたい。イベントの広報は、ツイッターだけでなく、米沢市の公式 LINE の広報と連携すると良いのではないかな。

(事務局) 図書館だよりと読書会などについて、米沢市の公式 LINE で広報してもらっている。イベントによっては実施しているが、なるべく全てのイベントを告知できるようにしたい。

(委 員) 読書はリラックス効果があり脳に良いと聞いたことがある。小さい頃に読書の習慣をつけさせるために図書館を利用させていきたい。また、本を読む方はナセ BA に来るので、興味のない方にどう来ていただくかが重要。また、学習室の利用を増やすために、学習室で勉強する効果等が分かれば利用する人が増えると思う。

(委 員) 昨年の事業報告と来年度の事業計画を聞いて、コロナ禍だからこそ頑張っていることが伝わった。オープンギャラリーやギャラリー展示があることで、本が好きな人だけでなく、ギャラリーを見に来た人が図書館に寄ることがあり、またその逆もあるので、とてもいいと思う。すばらしい環境づくりに感謝している。

(委 員) 今年度で三沢西部小学校と三沢東部小学校が閉校となり、西部小学校と統合して、来年度から市内の小学校は 14 校となる。来年度もナセ BA で小学校図書館部会の研修をお願いしたい。研修をして、イベント企画について学び、子ども達に本好きになってもらうようにしたい。

(事務局) 様々なご意見ありがとうございます。ご意見を聞いて、周知の仕方に工夫が必要だと感じた。米沢市の公式 LINE はぜひ活用していきたい。また、HP の改善、ツイッターの充実を図っていきたい。

9. 閉会

以上